

ユーラ・ギガ
Jura GIGA X8/X8C 取扱いマニュアル

ユーラ ギガ X8/X8C ご使用に際して (重要事項)

本マニュアルは大切に保管してください。
 また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検

メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. カルシウム除去

定期的にボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐためカルシウム除去が必要です。
 カルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきカルシウム除去を行ってください。

3. 毎日の洗浄

長くお使いいただくために洗浄タブレットによる洗浄を毎日行ってください。
 毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。
 洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は販売代理店でご購入ください。

4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合

故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。



p.01	: ご使用に際して	p.08	: マシン洗浄
p.02	: 安全にお使いになるために	p.09	: ミルク洗浄
p.03	: 製品保証書	p.10	: ミルクシステム分解清掃
p.04	: 各部名称	p.11 decal	: CA 除去
p.05	: 抽出の準備	p.11 claris	: フィルター交換
p.06	: メニューの抽出	p.12	: こんなときは
p.07	: 日常のメンテナンス	p.13	: トラブルシューティング
		p.14-15	: プログラミングモード



安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

- ⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為
- ⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

●本機は単相 200V 専用機です。必ず専用回線を設けてご使用下さい。コンセントは、単相 200V (ホルト) で機械一台あたり 15A(7.5kVA) 以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。

テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ/コードについて

●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。

●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。

機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一 衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。

お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。

電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コード や接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について

●接続 (アース) していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。アース線は機械に付属品としてついています。

●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。

アース線は次の場所に接続しないでください。

①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口

アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 警告：トラブルがあったときの処置

●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると火傷や感電により死に至る恐れがあります。

●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。

●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。

●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

●定期的に下記の点検を必ず行ってください。

- ①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
- ②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
- ③アース線が正しく接続されていますか。

⚠ 注意：通電について

●夜間など長時間で使用にならないときは必ず電源を切ってください。

⚠ 注意：設置環境について

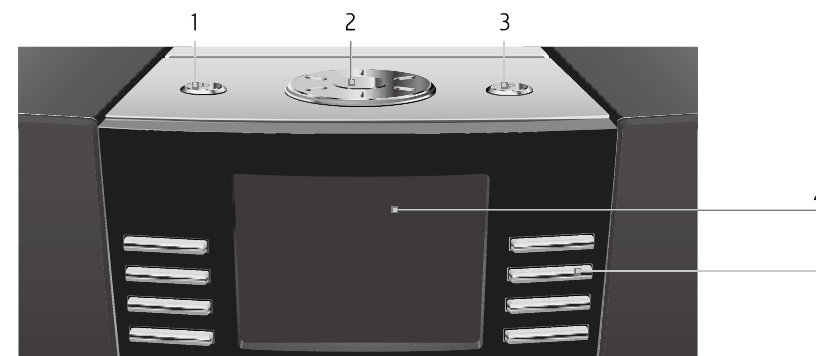
●周辺温度が 30℃以上になる場所での使用はおやめ下さい。

各部名称



- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1: アロマカバー付豆容器 | 8: カップゲリル |
| 2: 豆容器インジケータ | 9: コーヒー粉投入口 (洗浄タブレット投入口) |
| 3: 水タンクカバー | 10: ベンチレーションリブ (換気口) |
| 4: 水タンク | 11: 計量スプーン入れカバー |
| 5: 電源スイッチと
電源ケーブルのプラグイン (マシン背面) | 12: コーヒー粉軽量スプーン |
| 6: カス容器 | 13: 高さ・幅が調節可能な抽出口 |
| 7: ドリップトレイ | 14: スプラッシュガード |
| | 15: 高さ調節可能な給湯口 |

【ディスプレイ周辺】



- | | |
|--------------------|--|
| 1: オン/オフボタン | 4: ディスプレイ |
| 2: ロータリースイッチ | 5: マルチファンクションボタン
(ディスプレイに何が表示されているかに依存) |
| 3: P ボタン (プログラミング) | |

【マシン背面】



- | |
|------------------------|
| 1: サービスカバー (指で押して開けます) |
| 2: ロック装置 |
| 3: 豆容器シャッター |
| 4: サービスソケット (カバーの下) |

▶抽出の準備

前提条件

- ※水平かつ平滑で頑丈な場所に設置されていること
- ※水や蒸気がかかる場所、高温になる場所を避け通気を確保
(変形や故障・オーバーヒートの恐れがあります)
- ※本コーヒーマシン専用の単相 200V 電源にプラグを挿入
- ※布や食器でベンチレーションリブ (換気口) を覆わないこと

①水タンクに水を入れる

※GIGAX8C(自動給水タイプ) の場合は不要です。

水タンクカバーを開きます。
水タンクを取り外して、水ですすいでください。
新鮮な、水道水をタンクに満たし、再度本体にセットし、
水タンクカバーを閉じます。



ご注意

発泡水やミネラルウォーター、お湯などはマシン本体に損傷を与えたり設定した味を保てなくなります。必ず毎日汲み直した新鮮な水道水をご使用ください。

水タンクは再度セットする際に、タンク下にコーヒー豆などの異物が落ちていないか確認します。またセットする際は本体にまっすぐ差し込みます。
タンク下に異物があったり、タンクが斜めになっていると本体へ水がスムーズに供給されず
「ロータリースイッチを押して下さい」と表示されることがあります。

②豆ケースに豆を入れる

アロマ保存カバーを取り外します。
豆容器内部の汚れや異物を確認しあれば取り除きます。
コーヒー豆で豆容器を満たしアロマ保存カバーを閉じます。

ご注意

添加剤 (例えば糖やフレーバー) で処理したコーヒー豆、挽き豆または凍結乾燥コーヒーは、グラインダーを損傷します。
豆容器には無添加の正しくローストされたコーヒー豆だけを使用します。

③電源を入れる

マシン背面の主電源が入っていることを確認します。



抽出口の下に排水受を置きます。
マシン上部のオン/オフボタンを押します。



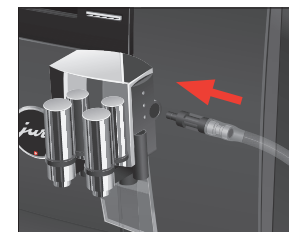
「Booting, Please wait」
「ご利用ありがとうございます」
「マシンをすすぎます」(起動リンスを設定している場合)
抽出口から少量のお湯が出ます。

「加熱しています」

「メニューを選んでください」
と表示され、スタート画面 (お気に入り) に設定された8種のメニューが表示されます。

④ミルクの用意

抽出口右側のコネクタに
ミルクチューブを接続します。
もう一方の先端をミルクに
差し入れます。



ご注意

成分無調整の牛乳を使用してください。ロングライフ・ローファットは目詰まりの原因となります。
牛乳を泡立てるための最も重要な要件は、4~8°Cのミルク温度です。ミルククーラー (別売オプション品) のご使用をお勧めします。

スピードマーク について

本マシンはコーヒー用、ミルク (スチーム) 用の他に給湯専用のサーモブロックがあり、コーヒーのラインへお湯を合流させるバイパス機能があります。これにより容量の多いメニューもよりスピーディーに、雑味をおさえすっきりとした味わいで抽出することができます。

例 メニューを選んでください:

<input type="radio"/>	リスト	カプチーノ	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	コーヒー	コーヒー	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	エスプレッソ	カフェラテ	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	熱湯	ラテマキアート	<input type="radio"/>

画面表示中の赤い マークはこのバイパス機能を使用しているメニューに表示されます。
また、このスピードマークは非表示にすることも可能です。
詳しくは販売店にお問い合わせください。

バイパス機能はpメニュー設定→エキスパート→追加湯量という項目で設定できます。

▶メニューの抽出

前提条件

液晶画面に「メニューを選んでください:」と表示されている。抽出の準備ページを参照し、水、豆、ミルクの用意ができています。
使用するカップ、グラスを用意し、その高さにあわせて抽出口の高さを調整しておきます。



コーヒー、ミルクは右側の抽出口から提供されます。



お湯（熱湯）は左の給湯口から提供されます。

抽出には3種類の方法があります。

- ◆スタート画面（お気に入り）から
- ◆メニューセレクトから
- ◆クラシックから

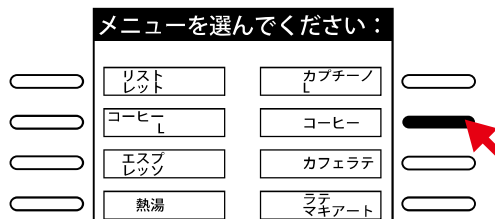
いずれの場合も抽出中にロータリースイッチを回すことで量の増減をしたり、ボタンを押すことで抽出を途中でやめたりすることができます。

※但しバイパス機構を使用したメニュー（赤いマーク付）については抽出中の量変更はできません。

◆スタート画面（お気に入り）から

最も使用頻度の高いメニューがスタート画面（お気に入り）に設定してあります。
カップ・グラスをセットし、抽出したいメニューのボタンを押して下さい。

例：コーヒーの抽出



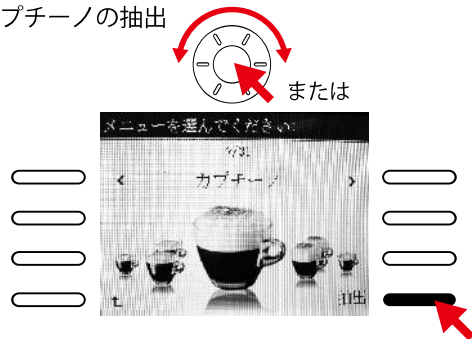
※2秒以内に続けて2回押すことで選択したメニューの2杯取りができます。

◆メニューセレクトから

(Mセレクト)

マシン上部のロータリースイッチを回すと設定済みのメニュー（最大29種）が次々画面に現れます。
カップ・グラスをセットし、抽出したいメニューを画面中央に大きく表示させた状態で、ロータリースイッチの中央あるいは右下の抽出ボタンを押して下さい。

例：カプチーノの抽出



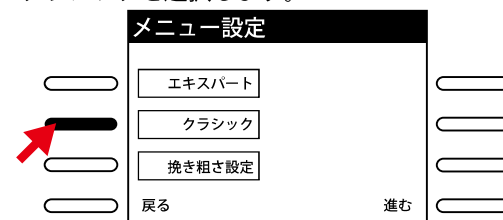
※メニューセレクトへメニューを追加したり削除したりすることができます（→p14●メニュー設定）

◆クラシックから

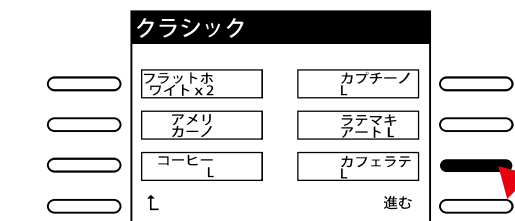
お気に入りやMセレクトに登録されていないメニューを呼び出して抽出することができます。
カップ・グラスをセットします。

例：カフェラテLの抽出

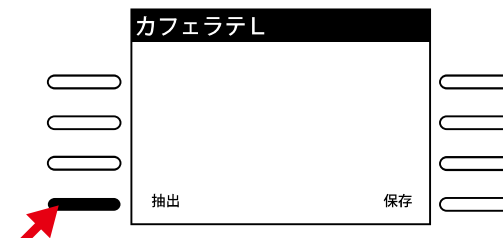
マシン上部のPボタンを押します。お手入れステータス（1/5）が表示されます。
メニュー設定（2/5）を表示させます。
クラシックを選択します。



進むボタンを押して、めあてのメニューを表示させます。



画面左下の抽出ボタンを押します。



※右下の保存ボタンからこのメニューをお気に入りやメニューセレクトへ登録することができます。（→p14●メニュー設定）

▶ 日常のメンテナンス

オペレーション中に良くでる表示とその対処方法、ご注意ください

豆容器に豆を入れてください

インジケータが赤く点滅しているほうの容器の豆が不足しています。豆容器のカバーを開け豆を補充してください(水気厳禁)

水タンクに水を入れてください

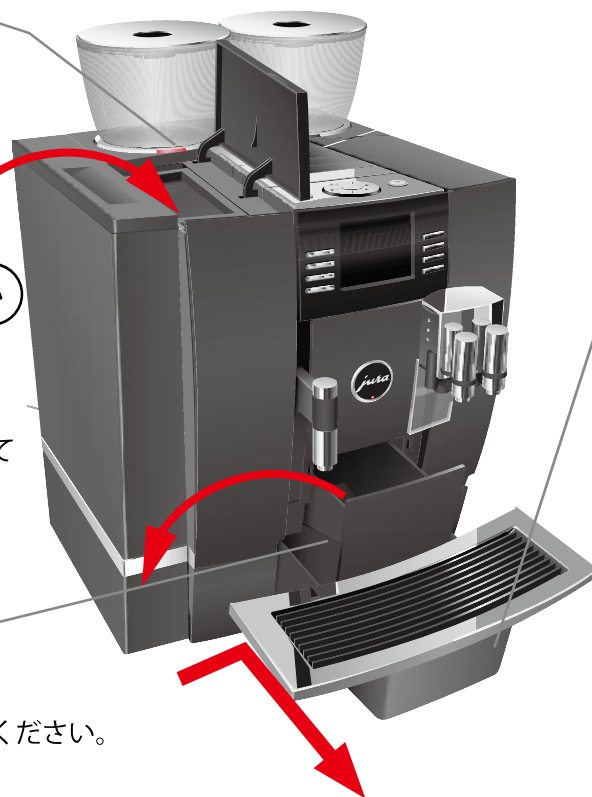
水タンクを取り外し、よくすすいでから新鮮な水で満し本体に戻してください。水タンクがまっすぐセットされているか、タンクと本体の間に豆などの異物が挟まっていないか確認してください。

カス容器を空にしてください

ドリフトレイをひきだし、中にあるカス容器にたまったコーヒークスを捨ててください。

カス容器がありません

カス容器を戻し忘れていないかご確認ください。



ドリフトレイは前端を軽く上へ持ち上げて手前に引くと簡単に外れます。

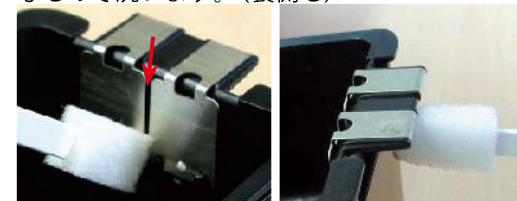
ドリフトレイを空にしてください。

ドリフトレイを手前に引きだし、中にたまった排水を捨てます。ドリフトレイの一番奥には金属製の接点電極があります。下図を参照し、日頃よりこの部分を中性洗剤でよく洗いましょう

ドリフトレイがありません

ドリフトレイがしっかりと入っていない状態です。きちんと戻しているのにこの表示が出る場合は前述の金属製接点の汚れによる検知不良です。下図を参照し、水気をよく拭き取ってから本体に戻します。

接点電極を中性洗剤を使用して洗います。特に金属と金属のすき間を重点的に、ブラシのようなもので洗います。(裏側も)



乾いた布で水気を完全に拭きとり(裏側も)本体に戻して下さい



必要なもの

洗浄タブレット

 × 1 錠



※水タンクに半分以上の水

220 杯の抽出または 80 回のスイッチオンで「マシン洗浄」と洗浄を促すサインが出ます。

※マシン洗浄はおよそ 20 分かかります。

※マシン洗浄は中断しないでください。

洗剤が残ったり汚れが完全に落ちない恐れがあります。

※CA 除去の表示が出ているとマシン洗浄ができません。

先に CA 除去作業 (p11) を終わってからマシン洗浄を行って下さい。


※洗浄タブレットはマシン販売店からご購入できます。

ご注意

販売店指定のカフェラウォッシュ (安全データシートあり) をご使用ください。指定以外のものを使用すると錠剤が溶け切らない場合があります。

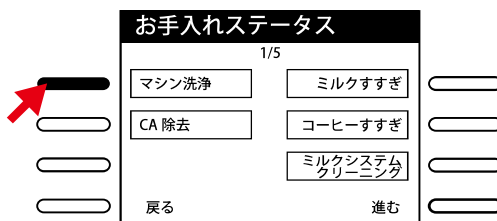
洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。


手順


- ① マシン上部の P ボタンを押します 

お手入れステータス (1/5) が表示されます。


- ② 「マシン洗浄」 ボタンを押します。



- ③ 「所要時間 約 20 分」 スタート 

- ④ 「必要なマテリアル・・・」 スタート 

- ⑤ 「カス容器を空にしてください」
ドリフトレイとコーヒカス容器を空にしてマシンに戻します。

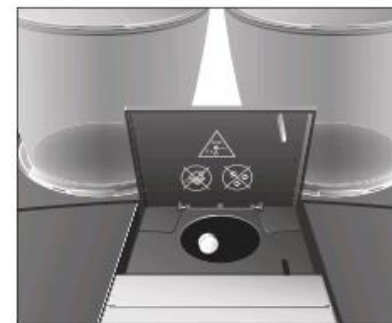
- ⑥ 「ロータリースイッチを押して下さい」
抽出口の下に排水受を用意してからロータリースイッチを押します。 




- ⑦ 「マシン洗浄中」
すすぎのお湯が抽出口から排出されます。
すすぎが終わると一時停止し

「洗剤を入れてください」と表示されます。

- ⑧ コーヒー粉投入口 (洗剤投入口) のフタを開けて洗浄タブレットを投入します。
投入したらフタを閉じます。



- ⑨ 「ロータリースイッチを押して下さい」 

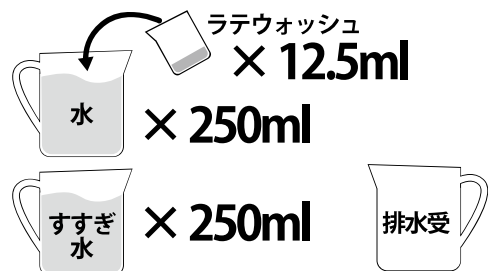
「マシン洗浄中」と表示され洗浄のお湯が抽出口から排出されます。

- ⑩ 「カス容器を空にしてください」と表示され一時停止します。
ドリフトレイとコーヒカス容器を空にしてマシンに戻します。

- ⑪ 「マシン洗浄が終了しました」と表示され数秒後にスタート画面に戻ります。



必要なもの



ミルクシステムを使用してメニューを抽出した場合、食品衛生の見地から、ミルクシステムのクリーニング(ミルク洗浄)を必ず毎日行なってください。(洗浄を促すサインなどは出ません)

※ミルクシステムクリーニングはおよそ2分かかります。
※ミルクシステムクリーニングは中断しないでください。
※専用洗剤はマシン販売店からご購入できます。

ご注意

販売店指定のラテ・ウォッシュ(安全データシートあり)をご使用ください。指定以外のものを使用するとマシンが破損する恐れがあり、または洗剤成分がすすぎきれない可能性があります。販売店指定のメンテナンス用品をご使用ください。

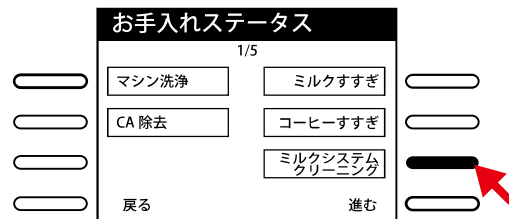
洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

手順

① マシン上部のPボタンを押します

お手入れステータス(1/5)が表示されます。

② 「ミルクシステムクリーニング」ボタンを押します



③ 「約2分」 スタート

④ 「必要なマテリアル・・・」 スタート

⑤ 「ミルク用洗剤」
容器に新鮮な水 250ml を注ぎ、ラテ・ウォッシュを 12.5ml 加え、よく混ぜて洗浄液を作ります。洗浄液にミルクチューブをさし、排水受の下には排水受を置きます。進む



⑥ 「ミルク洗浄中」と表示され、お湯とスチームが洗浄液とともに排水受から吐出されます。

⑦ 「ミルクすすぎ用の水」
先ほどの容器を水道水で徹底的にすすぎ、今度は真水 250ml を注ぎミルクチューブをさします。排水受の下には排水受を置きます。進む



⑧ 「ミルク洗浄中」と表示され、排水受とミルクチューブがすすがれます。その後自動的に停止します。

⑨ 「ミルク洗浄が終了しました」と表示され数秒後にスタート画面に戻ります。

▶ ミルクシステム分解清掃

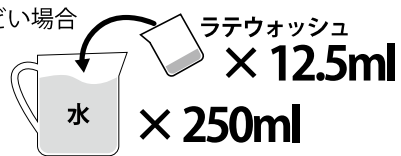
毎日必須

約 15 分

jura

必要なもの

汚れがひどい場合



※ p08 ミルクシステムクリーニング⑥の排水でも可

衛生上の見地から、また、ミルクシステムの性能維持のため、ミルクを使用した場合はミルクシステムを毎日分解清掃する必要があります。(洗淨を促すサインなどは出ません)

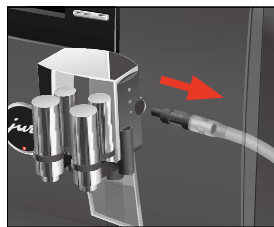
ご注意

分解清掃後は各部品を元の位置に正しく取り付けして下さい。取付が誤っているとミルクシステムが正しく機能しません。ラテ・ウォッシュをご使用の際は皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

手順

①

ミルクチューブを取り外し流水できれいにすすぎます



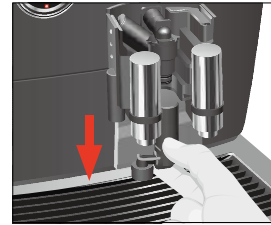
②

銀色のカバー上部左右にあるリリースボタンを押しながら上方に引き上げるように外します。



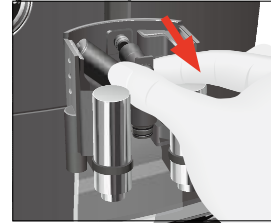
③

慎重にミルクシステム下部を下に引き下ろして外します。



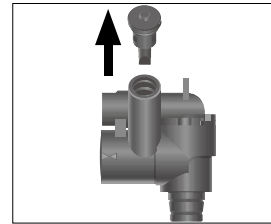
④

抽出口からミルクシステムを取り除きます。



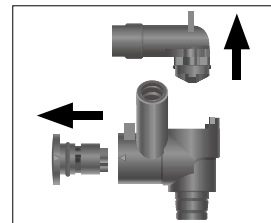
⑤

エアサクシオンを取り外します。



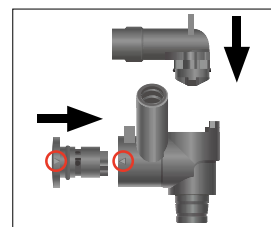
⑥

ミルクシステムをバラバラに解体し、流水で全ての部品を洗います。こびりついた牛乳カスがある場合は、まずラテウォッシュに個々のパーツを浸します。(p08 ミルクシステムクリーニング⑥の排水再利用でも可・ゴム手袋着用のこと) 汚れがおちたら各部品を流水で徹底的にすすぎます。



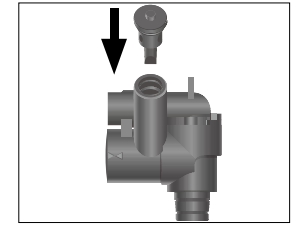
⑦

写真の赤丸の部分の矢印が合うように注意してミルクシステムを組み立てます。



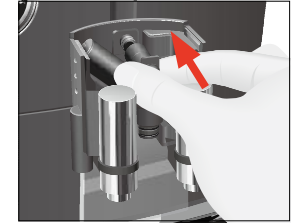
⑧

エアサクシオンを確実に取り付けます。



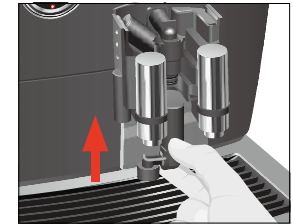
⑨

⑦⑧で組み上げたミルクシステム上部を抽出口に取り付けます。その上でしっかりと抽出口背面に押し付けます。



⑩

ミルクシステム下部を既に取り付けであるミルクシステム上部に取り付けます。



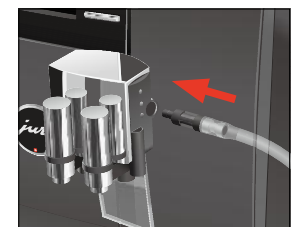
⑪

銀色の抽出口カバーを上から下方向へカチッと音がするまで差し込みます。



⑫

最後にミルクチューブを右側の穴にしっかりと差し込んで終了です。





必要なもの

CA 除去剤 × 6 錠

水 × 1000ml
(正確に計る)

すすぎ水 × 1000ml 排水受

ご使用するに従って飲料水に含まれるミネラル成分がマシン内部に徐々に蓄積されて固着してゆきます。最初に設定した水の硬度によりマシンは自動的にCA(カルシウム)除去洗浄を促します。

※CA 除去はおよそ 40 分かかります。
※CA 除去は中断しないでください。中断するとマシンの故障や損傷の恐れがあります。
※専用洗剤はマシン販売店からご購入できます。

ご注意

販売店指定のカルシウム除去剤(安全データシートあり)をご使用ください。指定以外のカルシウム除去剤を使用した場合、マシンが破損する恐れや、残留物が飲料に混入する恐れがあります。

カルシウム除去剤の投入後は必ず最後まで実行して下さい。洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

カルシウム除去剤は酸性です。アルミや大理石に付着した場合、損傷を与える恐れがあります。付着してしまった場合は直ちに洗い流してください。

警告

カルシウム除去剤は、皮膚や目に接触した場合、炎症を引き起こす可能性があります。皮膚や眼との接触を避け、万一目や皮膚に付着した場合はすばやくきれいな水で除去剤を洗い流してください。目に入った場合は、医師の診断を受けてください。

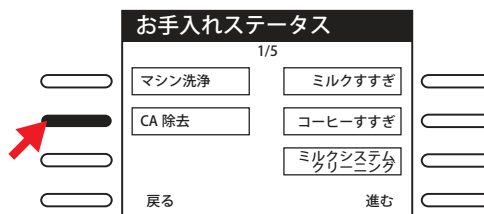
手順

「CA 除去」あるいは「今すぐ要 CA 除去」の表示が出ている

① マシン上部の P ボタンを押します
お手入れステータス (1/5) が表示されます。



② 「CA 除去」ボタンを押します

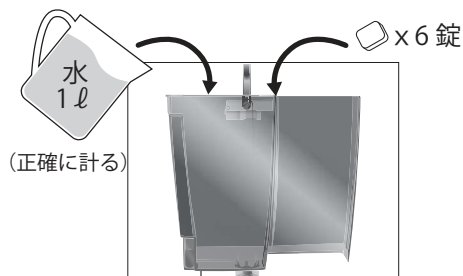


③ 「約 40 分」 スタート

④ 「必要なマテリアル・・・」 スタート

⑤ 「ドリフトトレイを空にして下さい」
ドリフトトレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。

⑥ 水タンクをマシンから外します。正確に計った水 1000ml (1ℓ) とカルシウム除去剤を 6 個入れ、十分に溶かします。(発泡しながら解けてゆきますが、数分間掛かります。)



⑦ 除去剤が溶けたら水タンクをマシンに挿入します。「ロータリースイッチを押します。」

給湯口と抽出口の下にそれぞれ排水受を用意してからロータリースイッチを押します。



⑧ 「マシン CA 除去中」
排水が抽出口と給湯口から断続的に排水されます。その後自動的に停止し、

「ドリフトトレイを空にしてください」と表示されます。
ドリフトトレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。

⑨ ここからすすぎに入ります。「水タンクに水を入れてください」
水タンクを取り外し、徹底的にすすいでください。新鮮な冷たい水で水タンクを満たし、再度マシンにセットしてください。

⑩ 「ロータリースイッチを押してください」
抽出口と給湯口に受け容器を再度配置しロータリースイッチを押します。



⑪ 「CA 除去中です」再び抽出口と給湯口からすすぎ水が断続的に排出されます。

⑫ 「ドリフトトレイを空にしてください」
ドリフトトレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。

※水道直結式 (GIGAX8C) の場合はここで水タンクを外し残った水を全て空にしてから本体に戻します。

⑬ 「CA 除去が終了しました」と表示され数秒後にスタート画面に戻ります。

※停電などでスケール除去プログラムが予期せず停止した場合は、すぐにきれいな水で水タンクをすすぎ、マシンのリンスを数回繰り返してください。

必要なもの

クラリスプロブルー
浄水フィルター



×1本

クラリスフィルターは、水道水から不純物やカルキ分を取り除きコーヒーに最適な水を作り出すために開発された Jura コーヒーマシン専用浄水フィルターです。

※フィルター交換はおよそ2分かかります。
※フィルター交換は中断しないでください。
※フィルターはマシン販売店からご購入できます。

ご注意

販売店指定の浄水フィルターをご使用ください。指定以外のフィルターはご使用になれません。

フィルター交換の表示が出ていてもメニューの抽出はできませんが、浄水能力のない状態での使用はマシン内部部品を傷めますのでなるべく早く交換をして下さい。

フィルターの交換時期はご使用地域の水質にあわせて技術者が設定いたします。

関東地域標準参考値：


300ℓ / リンス 180回または 60日 で交換

※設定水量に達しない場合でも 60日 が経過したら交換をして下さい

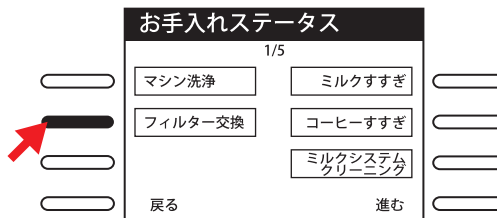
手順

「フィルター交換」 あるいは **「今すぐ要フィルター交換」** の表示が出ている

① ドリップトレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。

② マシン上部の P ボタンを押します  お手入れステータス (1/5) が表示されます。

③ 「フィルター交換」 ボタンを押します

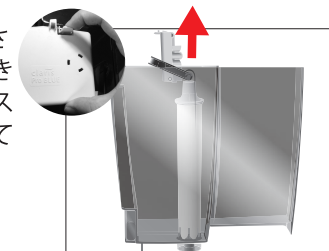


④ 「約2分」 スタート 

⑤ 「必要なマテリアル・・・」 スタート 

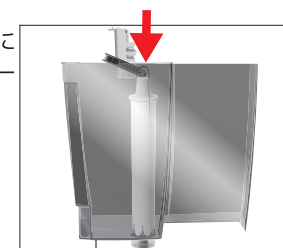
⑥ 「フィルター交換」 「ロータリースイッチを押して下さい」と交互に表示されます。
※この時、まだロータリースイッチは押さないで下さい！
まず水タンクを本体から取り外し、中の水を空にします。

⑦ フィルターホルダー（おさえ板）のつまみを軽く引きながらもち上げ、クラリスフィルターを引き抜いて廃棄します。



⑧ 中性洗剤を使用し水タンク内部をよく洗います。柄の長いスポンジ等を使用しフィルターの差し込み部もよく洗浄した後、きれいにすすぎます。

⑨ 新しいフィルターをまっすぐに差し込み、フィルターホルダーで抑えるように押し下げます。水タンクに新鮮な水を満たし本体にセットします。



⑩ ロータリースイッチを押します。「フィルターすぎ」と表示されドリップトレイにすぎ水が排出されます。



⑪ 「ドリップトレイを空にしてください」ドリップトレイを空にしてマシンに戻します。

⑫ 「フィルターのすぎが終了しました」と表示され数秒後にスタート画面に戻ります。「加熱中」や「リンス」という表示になる場合もありますが、加熱またはリンス終了後にスタート画面に戻ります。

▶こんなときは…

ディスプレイ表示	原因及び結果	解決方法
水タンクに水を入れてください	水タンクの水が足りません。 抽出できません。	水タンクに水を入れてください。
カス容器を空にしてください	コーヒーカスが満杯です。 抽出できません。	カス容器とドリップトレイを空にして下さい
カス容器がありません	コーヒーカス容器が装着されていません。 製品を抽出することはできません。	カス容器を装着してください。
ドリップトレイを空にしてください。	ドリップトレイが満水です。 抽出できません。	ドリップトレイを空にし洗浄してください。 →p07 日常のメンテナンス参照
ドリップトレイがありません	ドリップトレイが確実に取り付けられていないか 取り外された状態です。抽出できません。	マシンに戻す前に金属接点を充分乾かしてください。 ドリップトレイを確実に装着してください。
ロータリースイッチを押してください	システム内に水を供給する場合及びメンテナンスプログラム中に 求められる場合があります。	ロータリースイッチの中心にあるボタンを押してください。
豆容器に豆を入れてください (豆容器インジケーターが点滅)	豆インジケーターが点滅している方の豆容器が空になりました。 ミルクやお湯は提供可能です。	コーヒー豆を補充してください。
ミルクをすすいでください	ミルクラインのすすぎを促しています。	P ボタンを押して「ミルクすすぎ」を行ってください。 →p14 お手入れステータス参照
マシン洗浄 / 今すぐ要洗浄	洗浄を促しています。	P ボタンを押して「マシン洗浄」を行ってください。 →p08 マシン洗浄参照
CA 除去 / 今すぐ要 CA 除去	CA 除去を促しています。	P ボタンを押して「CA 除去」を行ってください。 →p11decalc CA 除去参照
フィルター交換 / 今すぐ要フィルター交換	浄水フィルターの交換を促しています。	P ボタンを押して「フィルター交換」を行ってください。 →p11claris フィルター交換参照
抽出ノズルがありません	抽出ノズルまたはカバーが外れています。	確実に取り付けてください。
コーヒー粉が足りません	コーヒー粉の量が充分ではありません。 マシンは動作を中止します。	もっと多いコーヒー粉でご使用ください。
背面 (=背面カバーが外れています)	マシン背面のサービスカバーが正しく装着されていません。 マシンは動作を中止します。	サービスカバーを正しく装着してください。
ベンチレーションリブを点検して下さい	マシンの上の換気蓋を開くことができません。 抽出ができなくなります。	販売店にご連絡ください。

トラブル	原因及び結果	解決方法
フォームドミルクの量が足りない	抽出口が汚れています。	P ボタンを押して「ミルクシステムクリーニング」を行ってください。 →p08 ミルクシステムクリーニング 参照
コーヒーが滴る程度しか出なくなった	グラインダーの挽目が細かすぎます。	グラインダーの挽目を粗く調整して下さい →p14 メニュー設定→挽き粗さ設定 参照
豆容器が空になっているのに「豆容器に豆を入れて下さい」の表示が出ない	豆容器が汚れて豆モニターが正しく働いていません。	乾いた清潔な布などで豆容器内を拭いて下さい（水分厳禁）
豆容器に豆が入っているのに「豆容器に豆を入れて下さい」と表示され抽出できない	豆容器のシャッターが閉じていません。	背面のサービスカバーを外して左右の豆シャッターがしっかりと開いているか確認して下さい
「ドリップトレイを空にしてください」と常に表示される。	ドリップトレイ後端の金属接点が汚れているか濡れています。	金属接点の表裏を中性洗剤等で洗い、乾いた布で水滴を拭きとってください →p07 日常のメンテナンス 参照
水が入っているのに「水タンクに水を入れて下さい」と表示される。	水タンク内のフローター（浮き）が固着してしまっています。	水タンクのスケール除去を行ってください。
ERROR 9(または 2,4,6)が表示される	長時間寒い場所に放置されると安全上再加熱されなくなります。	マシンが室温になるまでお待ち下さい。
ERROR 15が表示される	ベンチレーションリブ（マシン上部換気口）に異物等が挟まり開閉できない状態です。	豆やゴミなどが挟まっていれば取り除きます。ベンチレーションリブの上には物を置かないようにして下さい。
ERROR ○○の表示		電源を落とし、販売店にご連絡ください。

GIGA X8 プログラミングモード

設定画面へ	項目選択	設定項目	選択項目	内容/設定範囲	備考	進行	通常画面へ			
P ボ タ ン	進む →	●お手入れステータス (1/5)	マシン洗浄		スタートボタンで洗浄実行	下部の緑色のバーで次のお手入れまでの目安がわかります	↑スタート ↓			
			フィルター交換)		フィルター設定をリセットしますか?)	フィルター非アクティブ (←不使用)の場合は表示されません				
			CA除去		スタートボタンでCA除去実行	下部の緑色のバーで次のお手入れまでの目安がわかります フィルターアクティブ (←使用)の場合はCA除去は表示されません	↑スタート ↓			
			ミルクすすぎ		すぐにすすぎが始まります	抽出口の下に排水受をご用意下さい				
			コーヒーすすぎ		すぐにすすぎが始まります	抽出口の下に排水受をご用意下さい				
			ミルクシステムクリーニング		スタートボタンでミルク洗浄実行		↑スタート ↓			
	P ボ タ ン	戻る ←	●メニュー設定 (2/5)	エキスパート (←メニュー設定変更)	<input type="checkbox"/> コーヒー量: 25~290ml <input type="checkbox"/> 容量 熱湯): 25~450ml <input type="checkbox"/> 追加湯量: 0~580ml <input type="checkbox"/> ミルク量: 0~120秒 <input type="checkbox"/> フォーム量: 0~120秒 <input type="checkbox"/> コーヒーの濃度: ●~●●●● 5段階 <input type="checkbox"/> 温度: 低/中/高 <input type="checkbox"/> グライNDER: 左右各々0~100% 25%きざみ) <input type="checkbox"/> メニュー名: 任意のメニュー名を入力 <input type="checkbox"/> 初期設定に戻す <input type="checkbox"/> Mセレクト取消	設定したいメニューのボタンを押すと変更できる項目が表示されます。 (←メニューによって表示される項目が異なります) 進むボタンで次画面へ進みます。	+ボタンで値を設定 アルファベット 日本語不可)	↑保存 ↓		
				クラシック 初期登録されている基本メニューです	<input type="checkbox"/> 抽出 <input type="checkbox"/> 保存 <input type="checkbox"/> Mセレクトへ	選択したメニューが抽出されます お気に入りへ(スタート画面に表示) ローターリースイッチを回すと液晶に表示されるメニューセレクトから削除 全33種 スタート画面のメニューに追加します ローターリースイッチを回すと液晶に表示されるメニューセレクトに加えれます	↑はい ↓			
				挽き粗さ設定	<input type="checkbox"/> 左グラインダー <input type="checkbox"/> 右グラインダー	細かい●●●●粗い 5段階	↑保存 ↓			
				●マシン設定 (3/5)	お手入れ設定	<input type="checkbox"/> フィルター <input type="checkbox"/> 水の硬度 <input type="checkbox"/> すすぎ始動 <input type="checkbox"/> ミルクすすぎ	アクティブ/非アクティブ 1 dl~30 dl 5段階 手動/自動 ↑手動 :10分後/直後 ↓自動 :10分後/直後			
					時刻/日付	<input type="checkbox"/> 時刻 <input type="checkbox"/> 日付	+-で時刻 (HH)設定→保存→分 (MM)設定→保存 +-で西暦 (YYYY)設定→保存→月 (MM)→保存→日付 (DD)→保存			
					タイマー	<input type="checkbox"/> 月火水木金土 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> オフまでの時間	↑マシンスイッチ オン ↓マシンスイッチ オフ 15分~15時間	「毎日」を選択→設定した オンオフ時刻を全曜日に適用	↑保存 ↓	
					省エネルギー	<input type="checkbox"/> 省エネモード OFF <input type="checkbox"/> 省エネレベル1 <input type="checkbox"/> 省エネレベル2	全てのメニューが即座に提供可能 ミルク用スチームボイラーをスリープ状態に。ミルク使用メニューの際に待機が必要です 最後の抽出から5分経つと全ボイラーがスリープ状態に			
						単位表記	<input type="checkbox"/> 24 hrs/AM PM <input type="checkbox"/> ml /oz			
						初期設定に戻す	<input type="checkbox"/> 全メニュー <input type="checkbox"/> マシン <input type="checkbox"/> システムを空に	メニュー全てを初期設定に戻しますか? マシンを初期設定に戻しますか? ローターリースイッチを押して下さい		↑はい ↓

GIGA X8 プログラミングモード

設定画面へ		項目選択	設定項目	選択項目	内容/設定範囲	備考	進行	通常画面へ
P ボタ ン	進む →	●マシン設定 (4/5)	言語の選択	独/英/仏/伊/蘭/西/ポルトガル/ロシア/スウェーデン/ポーランド/エストニア/日本語			保存 ↵	P ボタ ン
			ディスプレイ	バックライト	10~100% (0%きざみ)			
				明るさ	20~100% (0%きざみ)			
				コントラスト	低/中/高			
			壁紙	全7種 無地含)		登録画像のみ。オリジナルイメージの追加機能なし		
			グラインダ選択	アクティブ	抽出の度に+ボタンで左右グラインダの使用割合 (25%きざみ) を変更可能に	スタート画面で指定した割合がメニューセクタのメニューにも適用されます。スタート画面に表示されるメニューが6種に減ります		
	非アクティブ							
	← 戻る	●情報 (5/5)	合計抽出杯数	これまでの総抽出数を表示	メニューセクタのメニューはロータリースイッチを回して表示させます	前画面に戻るにはどのボタンでもよいので押す (ロータリースイッチも可)		
			日毎抽出杯数	その日の総抽出数を表示	日毎抽出杯数を削除しますか?	はい/いいえ どちらか決定することで前画面に戻ります		
			お手入れ回数	マシン洗浄				
				フィルター交換				
				CA除去				
				ミルクすすぎ				
				コーヒーすすぎ				
				ミルクシステムクリーニング				
バージョン			ソフトウェアのバージョン表示					